

住民の主体性が地域を動かす

定員30名
(先着順)

人口減少やニーズの多様化により、行政だけでは解決できない課題が増加する中、住民による主体的な取組は地域の大きな力になります。

本セミナーでは、住民主体で多様な主体と連携しながら、地域の課題解決に取り組む事例について発表いただき、その後、気軽に発表者と意見交換できるよう、交流会を行います。協働のまちづくりを学ぶ場として、地域づくりに取り組む方同士の交流の場として、ぜひご活用ください。

日時 令和3年12月16日(木) 14時～16時

会場 富里市すこやかセンター2階会議室1 (富里市七栄652番地1)

市役所駐車場利用可

京成成田駅から千葉交通路線バス「富里農協・富里市役所前」で下車

プログラム

14時～14時10分	開会
14時10分～15時00分	事例発表 ちばコラボ大賞受賞の3団体による発表
15時10分～16時	交流会 各事例発表者を囲み、質疑や意見交換を行う。

動画配信 本セミナーの事例発表は録画し、1月頃に「千葉県公式セミナーチャンネル」(YouTube)で一般公開予定です。併せてご活用ください。

ちばコラボ大賞とは？

県内では、NPO(市民活動団体)と地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等が連携して、それぞれの特性を活かしながら地域の課題解決に取り組んだ優れた事例を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりを促進しています。



チーバくん

申込方法(令和3年12月13日(月)締切)

右のコードから申込フォームに入力いただくか、下記のメールアドレス宛に「お名前、ご所属、電話番号、メールアドレス、お住いの市町村」をお知らせください。

問合せ・申込先 千葉県環境生活部県民生活・文化課
TEL:043-223-4133 E-mail:npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp



事例発表のご紹介

やちまたふくしフェスタ(八街市)

発表者: やちまたふくしフェスタ実行委員会 委員長 塚本大輔氏



「障害があってもなくても暮らしやすいまちづくりのきっかけを作りたい」との思いから、障害福祉に関わる社会福祉法人やNPO、企業などが主体となり、参加型・体験型のイベント「やちまたふくしフェスタ」を開催している。
令和元年度ちばコラボ大賞受賞。

空き地・不明土地解決活動(八千代市)

発表者: 八千代市緑が丘西自治会 会長 鈴木介人氏



地域で利用されずに管理不全となった土地の活用を目指し、国土交通省のモデル事業として、地元企業や不動産鑑定士などの専門家、行政などと連携しながら、ドローンを利用した空き地調査や、無料相談会などを開催したほか、交流拠点を整備している。
平成26年度ちばコラボ大賞受賞。(別事例)

地域の食文化と関係人口を活かした活性化(神崎町)

発表者: 特定非営利活動法人こうざき発酵道楽 事務局長 青木秀幸氏



発酵・醸造産業が盛んであった神崎町を再び元気な町にするため、老舗の酒蔵や地元農家が中心となり、発酵をテーマとしてまちづくりに取り組む「発酵の里協議会」を立ち上げ、発酵食品分野の産業振興と関係人口による活性化を行う。
平成25年度ちばコラボ大賞受賞。

【本セミナーの感染予防対策について】

- ・会場は会場定員の半数の人数で使用します。
- ・発表者及び参加者には受付時に検温と手の消毒に御協力をお願いし、マスクの着用がない場合には参加をお断りします。
- ・当日、体調が優れない場合には参加を控えるようお願いいたします。